令和８年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	電波の日	菊間　信良	個人	名古屋工業大学　名誉教授 東京都立大学　システムデザイン学部　情報科学科　特任教授	長年にわたり電波監視技術の高度化及び調査研究に尽力し、我が国の電波監視システム（DEURAS）の構築に寄与するとともに、情報通信審議会の作業班の主任として電波監視の今後の在り方に関する報告書をとりまとめるなど、我が国の電波監視分野の発展に多大な貢献をした。
中央	電波の日	佐藤　孝平	個人	国立研究開発法人情報通信研究機構　シニアイノベーションコーディネータ	長年にわたり国際電気通信連合及びアジア・太平洋電気通信共同体において議長等を歴任され、主に次世代移動通信システムの国際標準化を主導し、卓越したリーダーシップにより多国間の利害関係を公平な立場から調整するなど、アジア・太平洋地域全体の利益に多大な貢献をした。
中央	電波の日	山尾　泰	個人	電気通信大学　名誉教授 電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター客員教授	情報通信審議会の専門委員を務め、同審議会の複数の作業班において主任及び主任代理として携帯電話等の技術的条件等に係る議論をけん引するとともに、電波利用料による研究開発等の評価を通じて電波有効利用技術の実用化及び社会実装に寄与し、電波技術や電波利用等の発展に多大な貢献をした。
中央	電波の日	一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター	団体	理事長　山本　圭司	30年以上の長きにわたり、渋滞・規制・駐車場情報などの道路交通情報をリアルタイムで収集・処理・編集し、ＦＭ多重放送、電波ビーコン、光ビーコンの三つのメディアによりカーナビゲーションシステムに配信する業務を通じ、交通の円滑化、国民の利便性向上に多大な貢献をした。
中央	電波の日	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会	団体	会長　十倉　雅和	2025年日本国際博覧会において、次世代の情報通信技術を活用した未来社会の実験場を提供し、情報通信の将来像を体験させ、我が国の情報通信利用の推進に寄与するとともに、多数の無線局の運用調整を行うなど、会場における良好な電波利用環境の確保に多大な貢献をした。
中央	電波の日	輪島市/ 一般社団法人 町野復興プロジェクト実行委員会	団体	代表理事　山下　祐介	令和６年能登半島地震及び奥能登豪雨で甚大な被害を受けた輪島市町野地区において、臨時災害放送局を開設運用し地域の安心安全に寄与するとともに、被災地を元気づけ放送により深まった絆を通して、被災地の復旧・復興と地域の再生に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	上沼　紫野	個人	LM虎ノ門南法律事務所　弁護士	長年にわたりインターネット上の誹謗中傷対策及び青少年のインターネット利用に関し制度整備等の議論も含めた政策の推進に寄与するとともに、安心ネットづくり促進協議会や違法・有害情報相談センター等の活動にも尽力するなど、インターネットの安心・安全な利用環境の整備に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	鈴木　幸一	個人	一般社団法人テレコムサービス協会 最高顧問	日本初の商用インターネットサービスプロバイダーとして企業や一般ユーザーのインターネット利用環境整備に大きく貢献したほか、一般社団法人テレコムサービス協会において電気通信事業分野における公正競争の促進に関する取組等を通じて情報通信政策の形成に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	田村　幸一	個人	弁護士法人杜協同法律事務所　弁護士	電気通信紛争処理委員会委員長として、長年にわたる裁判官としての豊富な経験と広範な分野における優れた識見を活かして委員会を運営し、電気通信事業者間の紛争を公正かつ円滑に解決するとともに、総務大臣からの諮問事案に対する審議・答申を指揮するなど、電気通信分野における公正競争の確保に尽力し、情報通信の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	福田　正	個人	一般財団法人UPDATE EARTH 代表理事・理事長	情報通信分野において、革新的なイノベーションの実現に向けて挑戦する人材の発掘と支援に長年にわたり尽力するとともに、世界に通用するスタートアップの創出と育成において主導的な役割を果たすなど、我が国の情報通信産業の発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	情報通信月間	一般社団法人 ＷｅｂＤＩＮＯ　Ｊａｐａｎ	団体	代表理事　瀧田　佐登子	WebやIoT技術を活用したシステムの開発を実践的に学習することを目的とした　Web×IoTメイカーズチャレンジＰＬＵＳの全国各地での開催を通じ、長年にわたり学生等の若手技術者の育成に取り組むなど、我が国の情報通信産業の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	ＮＩＣＴ ＩＣＴ Ｍｅｎｔｏｒ Ｐｌａｔｆｏｒｍ	団体	代表　田島　聡一	平成23年の組成以降長年にわたり起業家甲子園・起業家万博の出場者に対し、ビジネスプランのブラッシュアップなど事業化に向けた支援を精力的に行い、我が国の情報通信スタートアップの創出・育成に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	一般財団法人 マルチメディア振興センター	団体	理事長　桜井　俊	地域住民への迅速な災害情報の伝達に必要不可欠なＬアラートについて、その構想段階から実用化に向けた取組を実施するとともに、平成23年の運用開始以降、長年にわたり訓練・研修等を通じたＬアラートの安定運用及び普及・発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 志田林三郎賞	田中　秀治		国立大学法人東北大学　大学院工学研究科ロボティクス専攻　教授	長年にわたり微小電気機械システム（ＭＥＭＳ（メムス））を活用した無線通信デバイス等に関する研究開発に取り組み、実用化につながる数多くの成果を上げることで、我が国における電波利用技術の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞	荒木　則幸		ＮＴＴアドバンステクノロジ株式会社 ソーシャルプラットフォーム・ビジネス本部 ＩＯＷＮプロダクトビジネス部門　ネットワークシステム高度化担当　主幹技師	国際電気通信連合電気通信標準化部門第十五研究委員会の副議長を2013年から2022年まで務めたほか、災害救援システム及びネットワーク耐性と回復をテーマとするフォーカスグループの議長を務めるなど、電気通信に関する国際標準化活動に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞	木俵　豊		国立研究開発法人情報通信研究機構　執行役	長年にわたりユニバーサルコミュニケーション技術の研究開発に従事することにより、グローバルコミュニケーション計画の発展へ貢献し、2025年の同時通訳を実現するとともに、社会知コミュニケーション技術の研究開発や信頼できるＡＩの実現に向けた取組を主導するなど、我が国の情報通信技術の普及・発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞	小宮　一三		前　神奈川工科大学　学長	国家試験である工事担任者試験委員会委員長として長年にわたり試験問題の作成及び公平公正な国家試験事務の実施に尽力するとともに、情報通信エンジニアスキルアップガイドライン委員会委員長として多くの情報通信人材の育成に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞	森　達哉		早稲田大学　理工学術院　基幹理工学部　教授	AI、IoT、Web等に関するサイバーセキュリティの研究に長年従事し、先進的な研究成果の創出と高度人材の育成を通じて我が国のサイバーセキュリティ分野の発展に寄与するとともに、政府におけるAIセキュリティ政策の推進にも尽力し、我が国の安全・安心なサイバー空間の実現に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	情報通信月間推進協議会会長表彰 情報通信功績賞	つなぐ×かえるプロジェクト		NTT株式会社　代表取締役社長 社長執行役員　CEO　島田　明 NTT東日本株式会社　代表取締役社長 社長執行役員　CEO　澁谷　直樹 NTT西日本株式会社　代表取締役社長 社長執行役員　CEO　北村　亮太 株式会社NTTドコモ　代表取締役社長　前田義晃 NTTドコモビジネス株式会社 代表取締役社長　社長執行役員　CEO　小島克重 KDDI株式会社 代表取締役社長　CEO　松田　浩路 ソフトバンク株式会社　代表取締役 社長執行役員　兼　CEO　宮川　潤一 楽天モバイル株式会社 代表取締役社長　矢澤　俊介	被災地の避難所等における速やかな支援に向けた通信事業者間の協力体制を構築するとともに、給油拠点等のアセットや船舶の共同利用を推進し効果的な防災減災体制を確立すること等を通じ、災害時における被災地の通信ネットワークの維持及び早期復旧を図る体制の強化に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総合通信局長表彰	今村　光壹	個人	前 株式会社エフエムわっかない代表取締役社長	多年にわたり、株式会社エフエムわっかないの代表取締役社長として、道内コミュニティ放送の発展に尽力されるとともに、災害情報発信のための環境整備を行うなど、地域の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総合通信局長表彰	ＪＣＯＭマーケティング株式会社 札幌統括オフィス	団体	北海道総支社長　藤田　研	多年にわたり、電波利用環境保護の重要性を深く認識し、自主放送のコミュニティチャンネルを通じて、適正な電波利用の啓発に取り組むなど、良好な電波利用環境の維持・向上に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総合通信局長表彰	独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校	団体	校長　清水　一道	多年にわたり、ＷｉＣＯＮに継続的に提案チームを送り出し、多くの受賞チームを輩出するなど、実践的な工学教育を通じてワイヤレス人材の育成に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総合通信局長表彰	北海道小樽水産高等学校	団体	校長　黒島　裕司	多年にわたり、情報通信分野の専門教育に尽力され、数多くの無線従事者を輩出するなど、無線通信業界で活躍する人材の育成に多大な貢献をした。
北海道	情報通信月間 北海道総合通信局長表彰	小松川　浩	個人	公立千歳科学技術大学　理工学部　情報システム工学科　教授	多年にわたり、地域課題解決に向けたＩＣＴ人材の育成に尽力されたほか、北海道テレコム懇談会デジタル活用支援推進部会の座長として、高齢者のＩＣＴリテラシー向上の取組を行うなど、地域のデジタルデバイド解消に多大な貢献をした。
北海道	情報通信月間 北海道総合通信局長表彰	山本　強	個人	国立大学法人北海道大学　名誉教授	多年にわたり、幅広い情報工学分野の研究を通じ、北海道テレコム懇談会会長として産学官連携や地域のＩＣＴ利活用の推進に積極的に取り組まれたほか、データセンターの地方分散化や海底ケーブル整備の在り方等について提言されるなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
北海道	情報通信月間 北海道総合通信局長表彰	学校法人電子開発学園北海道情報専門学校	団体	校長　船本　幸司	多年にわたり、北海道起業家甲子園への学生の参加を積極的に促し、道内最多の全国大会出場校となるなど、次世代を担うＩＣＴスタートアップ人材育成及び起業家精神の醸成に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	北海道総合通信局長 感謝状	芦別市	団体		道道美唄富良野線の携帯電話不感地域の解消に尽力し、非常時における通報手段を確保するなど、道路利用者の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	北海道総合通信局長 感謝状	富良野市	団体		道道美唄富良野線の携帯電話不感地域の解消に尽力し、非常時における通報手段を確保するなど、道路利用者の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	北海道テレコム懇談会 会長賞	一般社団法人釧路地域DX推進協会	団体		産学官連携による釧路地域でのセミナーやデジタルEXPOの開催を通して地域におけるICT利活用による課題解決に取り組み、地域の情報通信分野の人材育成やDXの推進に多大な貢献をされました。
北海道	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 北海道総合通信局長賞	北海道帯広工業高等学校	団体		火の用心　コメント1本　火事のもと
東北	電波の日 東北総合通信局長表彰	大兼　幹彦	個人		スピントロニクスセンサを用いたインフラ非破壊検査システムを開発し、熟練者に依存しない高精度かつ効率的な検査手法の実現によりインフラ検査の高度化・省力化が期待できる技術の普及発展に多大な貢献をされました。
東北	電波の日 東北総合通信局長表彰	福島県電波適正利用推進員協議会	団体	会長　藍原　育夫	多年にわたり電波教室をはじめとした電波利用ルールの周知・啓発活動を継続することにより、電波の適正な利用推進に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間 東北総合通信局長表彰	栗原　由紀子	個人		東北電気通信消費者支援連絡会の座長として多年にわたりその卓越した見識と優れた指導力をもって電気通信サービスにおける消費者保護に関する諸問題の解決促進に尽力し、電気通信サービスの安心・安全な利用環境の構築に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間 東北総合通信局長表彰	青森県立十和田工業高等学校	団体	校長　岩井　友之	電気通信の工事担任者等の資格取得に向けた教育に積極的に取り組み、多くの合格者を輩出するなどＩＣＴ人材育成に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間 東北総合通信局長表彰	秋田県男鹿市	団体	市長　菅原　広二	災害発生時における迅速な状況把握と地域住民への的確な情報提供を図るため、LPWA対応IoT水位計センサー及びIPカメラによる河川監視体制を整備し、地域の安心・安全な暮らしの実現と情報通信技術の発展に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間 東北総合通信局長表彰	Web×IoTメイカーズチャレンジPLUS秋田運営委員会	団体	主査　伊藤　桂一	「Web×IoTメイカーズチャレンジPLUS in 秋田」を2023年度から3年連続で開催し、若者に対して地域課題の解決を目指すIoTハッカソンの場を提供するとともに、地域におけるICT人材及びIoTエンジニアの育成に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東北	情報通信月間 東北総合通信局長表彰	株式会社ニューメディア	団体	代表取締役社長　金子　敦	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟東北支部長及び事務局を二カ年に渡り務め、ケーブルテレビ事業の発展に尽力するとともに、災害フォーラムを通じて東日本大震災等の脅威・教訓を後世に伝承する取組を行うなど、地域における情報通信分野の発展に多大な貢献をされました。
東北	東北電気通信協力会長表彰	石巻アース倶楽部	団体	代表 松川　純也	昭和 43 年の発足以来多年にわたり、高度化・複雑化する船舶等の通信技術に対応するための研鑽を積み、数多くの船舶無線設備の工事、保守等を行い安全航行や漁業、海運業界における無線利用の拡大に多大な貢献をされた。
東北	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 東北総合通信局長賞	宮城県岩沼市立岩沼西小学校	団体	校長 大沼 史柄	顔見えず だからこそ持つ 優しさを
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	久保田　文人		一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター 参与	多年にわたり、無線通信障害の特異事象検討会議の委員として、数々の解決困難な電波障害事案の解決と未然防止に尽力するなど、電波利用環境の保護と適正化に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	関東自動車無線協会東京支部		支部長 村澤　儀雄	多年にわたり、タクシー無線の適正利用と運用支援をはじめ、安定的な運用に資する、無線に関する技術や運用、法令等の知識習得に向けた取組を推進するなど、電波の有効利用と地域におけるタクシー無線の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	関東自動車無線協会神奈川支部		支部長 藤井　嘉一郎	多年にわたり、タクシー無線の適正利用と運用支援をはじめ、安定的な運用に資する、無線に関する技術や運用、法令等の知識習得に向けた取組を推進するなど、電波の有効利用と地域におけるタクシー無線の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	ケーブルテレビ株式会社		代表取締役社長 髙田　光浩	地域課題である辺地共聴施設への対策をはじめ、放送の受信の改善に尽力するとともに、ケーブルテレビによる視聴手段の代替を検証する実証事業に協力するなど、地域における放送分野の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	一般社団法人全国船舶無線協会関東支部		支部長 小柴　克彦	多年にわたり、船舶に関する無線局の申請手続や検査の支援をはじめ、船舶用無線設備の整備・点検に用いる測定器の較正等の事業を積極的に推進するなど、電波の利活用による船舶無線の健全な発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会関東支部		支部長 立石　明寿	多年にわたり、CATV を技術面から支え、施設の設置及び維持に係る技術水準の向上と、CATV 技術者の育成に尽力するなど、地域におけるCATV の健全な普及と発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	水戸市		市長 高橋　靖	災害時の情報伝達における、ラジオ放送の有用性を強く認識し、臨時災害放送用設備を活用した、開設・運用訓練を継続して実施するとともに、臨時災害放送局の周知活動に積極的に協力するなど、ラジオ放送による防災・減災対策の推進に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関東	電波の日 関東総合通信局長表彰	横浜こども科学館		館長 的川　泰宣	多年にわたり、神奈川県電波適正利用推進員協議会と協働し、地域に密着した電波の適正利用の周知啓発活動に取り組み、工夫を凝らした子ども向け電波教室を多数開催するなど、電波利用環境の保護に多大な貢献をした。
関東	情報通信月間 関東総合通信局長表彰	庄司　昌彦		武蔵大学　社会学部 メディア社会学科 教授	地域情報化アドバイザーとして、多数のアドバイザー活動を実施し、地域社会のDX 化を支援するとともに、幹事会のリーダーとして、地域情報化アドバイザー制度の運営に尽力するなど、地域の情報通信の普及発展や地域課題解決に多大な貢献をした。
関東	情報通信月間 関東総合通信局長表彰	大学コンソーシアム八王子		会長 河合　久	八王子市周辺地域の高等教育機関と連携し、映像コンテンツの製作を通じた人材育成や情報通信技術を活用した起業支援に取り組むなど、地域経済の発展に多大な貢献をした。
関東	情報通信月間 関東総合通信局長表彰	栃木県立真岡工業高等学校		校長 伊東　英彦	工事担任者試験の認定学校として、多年にわたり資格者教育に尽力し、多数の国家試験合格者を輩出するなど、資格者制度の適切な運用や情報通信基盤を支える人材育成に多大な貢献をした。
関東	関東情報通信協力会課長表彰	白井　洋一	個人	公益財団法人日本無線協会 養成課程講師	公益財団法人日本無線協会の講師として、海上分野の無線通信業務に従事した経験と知識を活かし、多年にわたり海上無線通信士や海上特殊無線技士等、多くの無線従事者お指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関東	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 関東総合通信局長賞	三峰無線株式会社	団体	代表取締役社長 油橋　義貴	令和７年に八丈島で発生した暴風雨災害に際し、被災地への無線機器の運搬と設置を、迅速かつ的確に行い、災害時における情報伝達手段の確保に尽力するなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
信越	電波の日 信越総合通信局長表彰	新潟県立海洋高等学校	団体	校長　富田　紀男	携帯電話事業者との間で、災害時において実習船「海洋丸」に「船上基地局」を設置し運航等を行う協定を締結することにより、災害時における携帯電話エリアの迅速な復旧体制の構築に多大な貢献をされました
信越	電波の日 信越総合通信局長表彰	一般社団法人 信越自動車無線協会	団体	会長　松葉 和彦	多年にわたり、タクシー無線の普及や周波数の有効利用に資するデジタル化の推進を行うとともに、会員に対して無線局管理や電波法令の遵守・徹底を推進するなど、電波の利用促進や電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	学校法人長聖　佐久長聖中学校	団体	校長　依田　彰	多年にわたり、電波障害防止の図案コンクール作品を応募し、５年連続で入賞するなど優秀な作品を多数輩出した。美術指導を通じて誰もがわかりやすいように電波障害防止を呼びかけた功績は大きく、電波障害防止の普及に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 野辺山宇宙電波観測所	団体	所長　西村 淳	世界最先端の電波望遠鏡施設の運用を通じて電波天文学の発展に貢献するとともに、長年にわたる啓発活動や映像作品への協力を通じて、地域観光の活性化と若年層への電波技術の普及・啓発に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	新潟県ＩＣＴ推進協議会	団体	会長　中野敬介	生成AIやデジタルリテラシーに関するセミナーを開催し、デジタル人材の育成と人的交流を推進し、「にいがたデジコングランプリ」への後援を通じて若年層のデジタル人材育成を支援するとともに、ICTを活用した地域課題解決・地域情報化の推進に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	小柳建設株式会社	団体	代表取締役社長　小柳 卓蔵	自社開発のホロストラクション等を活用し、遠隔打合せの実現や移動時間の削減を通じて、従業員が「いつでも、どこでも」働ける環境を構築し、事業継続性を確保するとともに、一人あたりの平均残業時間の削減に顕著な成果を上げ、働き方改革の推進に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	学校法人エスイー学園　エプソン情報科学専門学校	団体	学校長　小林 敏一	工事担任者試験に係る認定学校等として長年にわたり資格者教育に取り組み、過去6年間において「第1級アナログ通信」「第1級デジタル通信」「総合通信」の合格者合計数が全国1位を達成しており、高度な専門人材の育成を通じ、業界発展と社会の信頼性向上に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	小澤光興	個人	合同会社 ozatolink 代表社員	自治体にて情報政策・ＩＣＴ分野を牽引し、退職後は信州大学特任准教授として地域DXに携わるとともに、自治体向けDX研修講師や長野県市町村DX推進アドバイザーとして活動し、地域のデジタル人材育成と情報化推進に多大な貢献をされました。
信越	信越電波協力会長表彰	佐藤 敬	個人	ABNサービス株式会社 事業推進本部事務局長	永年にわたり中継局の建設・維持管理に従事し、デジタル放送移行や難視対策、中継局の共同利用検討、さらに災害時の中継局の放送維持に尽力されるなど、放送分野における電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	第九管区海上保安本部 新潟海上保安部 佐渡海上保安署	団体	署長　渋谷　卓矢	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	長野県警察本部 生活安全部生活安全捜査課	団体	課長　小林　繁生	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	長野県　千曲警察署	団体	署長　武田　幸信	電波利用環境の保護に向けた不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	長野県工業技術総合センター　精密・電子技術部門	団体	部門長　輕部　俊幸	無線通信機器製造事業者等を対象に企画、開催した無線通信技術セミナーの共催者として、電波暗室・測定器・会場を無償提供するとともに、ホームページやメーリングリストを通じた広報活動にも協力し、電波利用の普及・促進に多大な貢献をされました。
信越	「情報通信の安心安全な利用のための標語」信越総合通信局長賞	須坂市立井上小学校	団体	校長 関谷 敏	お友だち 悲しむかもよ その投稿

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北陸	電波の日 北陸総合通信局長表彰	一般社団法人日本アマチュア無線連盟北陸地方本部	団体	本部長　森田喜邦	長きにわたりアマチュア無線の普及や適正利用への活動を行うとともに、災害時等の非常通信確保やワイヤレス人材育成の取組を積極的に行うなど、北陸地域の電波利用の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日 北陸総合通信局長表彰	ふくい衛星運用ネットワーク構築プロジェクト	団体	代表　山田英幸	福井県内での産学官連携により、超小型人工衛星の開発・製造から打ち上げ後の衛星運用とデータ活用まで一貫して請け負える体制を構築し、北陸地域の電波技術の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間 北陸総合通信局長表彰	安彦　智史	個人	大阪経済大学 情報社会学部 准教授	福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会の座長として、リテラシー向上のための啓発活動において主導的な役割を担い、県内の青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間 北陸総合通信局長表彰	富山市	団体	市長　藤井　裕久	市内に整備したセンサーネットワークを発展させ、ＩＣＴを活用したスマートシティ施策を推進し、データに基づく政策立案と産学官連携による地域活性化に取り組み、地域の持続可能な発展に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間 北陸総合通信局長表彰	若狭町	団体	町長　渡辺　英朗	町内において地域ＢＷＡを活用したスマートポールを導入し、ＩＣＴを活用した防犯及び子どもの見守り体制の維持と強化に取り組み、地域課題の解決と住民の安心・安全な暮らしの実現に多大な貢献をされた功績
北陸	北陸情報通信協議会会長表彰	瀬川　哲示	個人		非常災害時における無線通信の重要性を深く認識し、通信手段としての無線運用に必要な無線従事者資格取得の指導とその育成に積極的に取り組むなど、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	北陸情報通信協議会会長表彰	干場　進二	個人		多年にわたり、e-ネットキャラバンの講師として、青少年の情報通信の健全な利用及びインターネット・リテラシーの向上のための活動に積極的に取り組み、情報通信の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	北陸情報通信協議会会長表彰	石川県消防学校	団体		無線通信の重要性を深く認識し、多年にわたり第二級陸上特殊無線技士養成課程に積極的に取り組むなど、多くの無線従事者の育成に努め、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	北陸情報通信協議会会長表彰	福井県立奥越明成高等学校			無線通信の重要性を深く認識し、多年にわたり学生を教育・指導し、多くの無線従事者の育成に積極的に取り組むなど、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされた功績
北陸	北陸情報通信協議会会長表彰	福井県立坂井高等学校			多年にわたり、電気通信の工事担任者の資格取得の促進に取り組み、高校生では難易度が高い上位資格について全国トップクラスの合格者を輩出するなど、情報通信を担う人材の育成に多大な貢献をされた功績

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東海	電波の日 東海総合通信局長表彰	大竹　丈夫	個人	株式会社ベータテック　相談役	多年にわたり、無線従事者の資格取得に向けた教育に卓越した指導力と豊富な経験をもって取り組み多くの合格者を輩出するなど、無線通信分野の人材育成に多大な貢献をした。
東海	電波の日 東海総合通信局長表彰	愛知県電波適正利用推進員協議会	団体	会長　中山 一郎	電波の適正な利用について、親子電波教室の開催をはじめとする地域に密着した周知啓発活動を積極的に推進するなど、電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をした。
東海	電波の日 東海総合通信局長表彰	株式会社鈴鹿メディアパーク 株式会社鈴鹿コミュニティー	団体	代表取締役社長　加藤 正彦	地域住民自らが事前に登録して防災情報等を提供できるシステムの構築やラジオ局の緊急放送等を自動販売機から直接放送する「飲む防災、飲む防犯」システムを事業化するなど、地域の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
東海	電波の日 東海総合通信局長表彰	第四管区海上保安本部	団体	本部長　林 一馬	海上における無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局の排除に向けた取締りを積極的に実施するなど、電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
東海	情報通信月間 東海総合通信局長表彰	服部 利春	個人	一般社団法人日本 CATV 技術協会　中部支部前事務局長	多年にわたり、高度な技術力と指導力をもって共聴施設の設置・維持管理を行うとともに、難視対策における技術支援を積極的に行うなど、良好な受信環境の整備に多大な貢献をした。
東海	情報通信月間 東海総合通信局長表彰	一宮市	団体	市長　中野 正康	産学官連携による「一宮スマートシティ推進協議会」を設立し、総務省のスマートシティ推進事業を活用して、都市OSを構築し子育て支援や健康支援のデータ連携を実現するなど、地域課題の解決に多大な貢献をした。
東海	情報通信月間 東海総合通信局長表彰	株式会社シー・ティー・ワイ	団体	代表取締役社長　渡部 一貴	地方公共団体との災害放送協定に基づき、コミュニティ放送等による防災情報を発信するとともに、警察署と地域安全協定を締結し、インターネットを活用した防犯カメラサービスの提供など、地域の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	榎本　高明	個人	元日本放送協会 静岡放送局 技術部副部長	多年にわたり、放送設備の整備と安定運用に尽力し、地上波放送のデジタル化とデジタル放送ネットワークの構築を通じて、静岡県の放送の発展に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	大前　秀樹	個人	トヨタ自動車株式会社 プラント・環境技術部 工場計画室 チーフエキスパート	RFIDやローカル5G等の無線通信技術を活用した現場DXの経験を活かし、公立工業高校等での講話を通じて、次世代を担う人材の無線通信インフラへの関心を高める活動に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	白松　俊	個人	国立大学法人名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	「Code for Nagoya」の活動を通じて地方公共団体と連携し、オープンデータの活用や市民参加型アプリの開発を推進するなど、情報通信技術による地域課題の解決に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	三輪　高史	個人	グレートインフォメーションネットワーク株式会社 代表取締役会長	多年にわたり、SJ情場クラブ会長として、ソフトピアジャパンと地域のICT企業との技術交流やビジネスマッチングなどの推進を主導し、新規協業の創出及び情報通信分野の人材育成に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	米澤　信義	個人	新生テクノス株式会社 名古屋支店通信部 担当部長	多年にわたり、列車無線システムの維持管理及び設備の高度化に従事するとともに、鉄道無線技術者の育成に尽力するなど、鉄道分野における電波利用の発展に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	株式会社アイエスイー	団体	代表取締役 髙橋　完	ICTを活用した獣害対策の成果を活かして、漁業・養殖業向けのIoT海洋モニタリングシステムを開発し、生産の安定化を通じてスマート水産業の発展に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	株式会社NTTドコモ 株式会社愛知国際アリーナ NTT西日本株式会社 NTT東日本株式会社		①執行役員 コンシューマーサービスカンパニー エンターテイメントプラットフォーム部長　櫻井　稚子 ②取締役 勝亦　健 ③東海支店 設備部長 本多　裕治 ④マーケティング統括本部 ビジネス開発本部 クラウド＆ネットワークビジネス部長 滝川　大介	IOWNを活用して離れた会場をリアルタイムに接続する大規模イベント演出を全国で初めて実現し、情報通信技術を活用した新たなエンターテインメント及びビジネスサービスの創出に多大な貢献をされました。
近畿	電波の日 近畿総合通信局長表彰	横手　辰美	個人	奈良県電波適正利用推進員協議会　会長	長年にわたり電波適正利用推進員として電波利用に関する周知啓発活動に積極的に取り組むとともに奈良県電波適正利用推進員協議会の会長として電波利用環境の維持・向上に多大な貢献をした。
近畿	電波の日 近畿総合通信局長表彰	第五管区海上保安本部	団体	本部長　鍬本　浩司	長年にわたり不法無線局の取締りを積極的に実施し船舶の安全航行に不可欠な海上通信や遭難通信等に対する妨害の未然防止に努めるなど無線通信の秩序及び電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
近畿	電波の日 近畿総合通信局長表彰	一般社団法人日本アマチュア無線連盟　関西地方本部	団体	関西地方本部長　田中　透	２０２５年日本国際博覧会においてアマチュア局の公開運用ブースを開設し来場者による体験運用を行い国際宇宙ステーションを含む国内外と広く交信するなど電波利用の普及発展に多大な貢献をした。
近畿	情報通信月間 近畿総合通信局長表彰	森　信介	個人	京都大学　学術情報メディアセンター　教授	長きにわたり近畿情報通信協議会の要職を務め地域における情報通信の普及啓発や関係者の連携強化等において中心的な役割を果たし地域における情報通信の利活用の推進に多大な貢献をした。
近畿	情報通信月間 近畿総合通信局長表彰	西宮市	団体	市長　石井　登志郎	不登校リスクの早期発見のため児童生徒の心理状態のオンライン調査システムを導入するなど多くの分野でデジタル技術を活用した地域課題解決と新たな価値創造に取り組み地域の情報通信の普及発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	河井　恒	個人	国立研究開発法人情報通信研究機構　ユニバーサルコミュニケーション研究所　マルチモーダルAIコミュニケーション研究センター　マルチモーダル音声コミュニケーション研究室　室長	高精度な音声認識技術及び肉声レベルの音質で高速に音声を合成する技術を開発しその技術は2025年日本国際博覧会の来場者向けの多言語同時通訳サービスを含む多くの音声翻訳サービスで採用されるなど音声翻訳システムの実現に必要な技術の開発・普及に長年にわたって貢献されました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	朝日放送グループホールディングス株式会社 経営戦略局 IR・サステナビリティ戦略部	団体	代表：IR・サステナビリティ戦略部長　秋枝　千絵	阪神・淡路大震災取材映像アーカイブと最新の情報通信技術を活用した防災コンテンツを2025年日本国際博覧会会場において展示するとともに国内外の防災・メディア関係者を招いた国際シンポジウムにおいて共有するなど放送映像や情報通信技術の利活用推進に貢献されました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	三田市	団体	代表：三田市長　田村　克也	個人番号カードを利活用したスマート図書館サービスとして申請書を書かずに利用者登録できる「書かない窓口」や登録有効期限の自動延長機能等を導入するとともに他の自治体への横展開に取り組み市民サービスの質向上と情報通信技術を活用した行政サービスの高度化に貢献されました。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	村田　英一	個人		超短波放送における同一周波数放送波中継による同期放送に関する調査検討会の座長として技術的条件等の取りまとめを主導し技術的条件等の策定に向けて多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	第六管区海上保安本部 広島海上保安部	団体	部長　岩永　尚哉	海上における無線通信の重要性を深く認識し不法無線局の排除に向けた取締りを積極的に実施し電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	学校法人鶴学園　広島工業大学	団体	学長　長坂　康史	無線従事者の免許に係る科目確認校として多年にわたり地域のワイヤレス人材の拡充と無線通信の発展に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	学校法人福山大学　福山大学	団体	学長　大塚　豊	無線従事者の免許に係る科目確認校として多年にわたり地域のワイヤレス人材の拡充と無線通信の発展に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	独立行政法人国立高等専門学校機構 津山工業高等専門学校	団体	校長　佐藤　貴哉	無線従事者の免許に係る科目確認校として多年にわたり地域のワイヤレス人材の拡充と無線通信の発展に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	日本放送協会広島放送局	団体	局長　寒川　由美子	被爆八十年にあたり最新技術を用いて被爆証言応答装置の実現に尽力するとともにＶＲ映像により被爆体験を伝える取組を行うなど平和と被爆体験の伝承と地域情報発信に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	株式会社中国放送	団体	代表取締役社長　宮迫　良己	被爆八十年にあたり大阪・関西万博におけるイベント開催などを通じて地域情報を発信し県域の放送事業者の存在価値を示すとともに平和と被爆体験の伝承に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	広島テレビ放送株式会社	団体	代表取締役社長　今村　司	被爆八十年にあたり被爆体験のドキュメンタリー番組の漫画出版などを通じて地域情報を発信し県域の放送事業者の存在価値を示すとともに平和と被爆体験の伝承に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	株式会社広島ホームテレビ	団体	代表取締役社長　佐藤　以誠	被爆八十年にあたりドキュメンタリー映画の制作・上映などを通じて地域情報を発信し県域の放送事業者の存在価値を示すとともに平和と被爆体験の伝承に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合通信局長表彰	株式会社テレビ新広島	団体	代表取締役社長　箕輪　幸人	被爆八十年にあたりドラマの制作・放送などを通じて地域情報を発信し県域の放送事業者の存在価値を示すとともに平和と被爆体験の伝承に多大な貢献をした。
中国	情報通信月間 中国総合通信局長表彰	野上 保之	個人		多年にわたりサイバーセキュリティ対策の重要性についての普及啓発を積極的に行い中国地域におけるセキュリティコミュニティの形成推進に多大な貢献をした。
中国	情報通信月間 中国総合通信局長表彰	島根県江津市	団体	市長　中村　中	伝統芸能「石見神楽」をメタバース技術でデジタル化し地域の魅力発信及び新たな文化継承に積極的に取り組むことにより地域の活性化に多大な貢献をした。
中国	情報通信月間 中国総合通信局長表彰	島根県海士町	団体	町長　大江　和彦	ICTを活用して島外者とつながり参画を促す仕組みを構築しその取組が関係人口の増加に寄与するなど地域の活性化に多大な貢献をした。
中国	情報通信月間 中国総合通信局長表彰	広島県神石高原町	団体	町長　入江　嘉則	地域課題解決のため平時と災害発生時を想定したドローンの活用やサテライトオフィスの整備を通じた企業誘致を推進し地域の情報化・活性化に多大な貢献をした。
中国	情報通信月間 中国総合通信局長表彰	株式会社中海テレビ放送	団体	代表取締役社長　加藤　典裕	コミュニティchや各自治体と連携した専門chを継続的に運営するとともに地域シンクタンクを設け山陰地域の課題解決に取り組むなど地域の情報発信や活性化に多大な貢献をした。
中国	中国情報通信懇談会表彰	美郷町	団体	町長 嘉戸 隆	地域課題解決のため安全かつ効率的な自動運転の実証やマイナンバーカードを活用した健康で便利なまちを目指す取組など地域の情報化・活性化に多大な貢献をされました。
四国	電波の日 四国総合通信局長表彰	田村　俊二	個人	高知県無線漁業協同組合 代表理事専務	多年にわたり漁船の安全操業や安全航行の確保など海難事故防止を目的とした漁業無線の普及を推進するとともに、無線従事者の育成に取り組み、無線局管理や電波の適正な利用に尽力するなど電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四国	電波の日 四国総合通信局長表彰	平賀　正明	個人	香川県電波適正利用推進員協議会　元会長	多年にわたり電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談対応や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県電波適正利用推進員協議会の会長及び幹事として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四国	電波の日 四国総合通信局長表彰	一般社団法人四国自動車無線協会	団体	会長　渡部　光男	多年にわたりタクシー無線の普及や周波数の有効利用に資するデジタル化の推進を行うなど効率的な利用を推進するとともに、会員に対して無線局管理や電波法令の遵守・徹底を指導し、電波利用環境の健全な発展に多大な貢献をした。
四国	電波の日 四国総合通信局長表彰	香川県警察本部生活安全部	団体	部長　佐脇　伸宏	電波利用環境保護の重要性を深く認識され放送受信や漁船等の遭難通信に障害を与える可能性が高い悪質な不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
四国	電波の日 四国総合通信局長表彰	香川県観音寺警察署	団体	署長　安冨　行美	電波利用環境保護の重要性を深く認識され放送受信や漁船等の遭難通信に障害を与える可能性が高い悪質な不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
	電波の日 四国総合通信局長表彰	高知県高知南警察署	団体	署長　小笠原　英雄	電波利用環境保護の重要性を深く認識され放送受信や漁船等の遭難通信に障害を与える可能性が高い悪質な不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
	情報通信月間 四国総合通信局長表彰	中野　裕介	個人	有限会社電マーク代表取締役／日本ルースト株式会社代表取締役	多年にわたり地鶏等初生雛雌雄鑑別ＡＩシステムの開発･普及とともに、生物生態に特化したＡＩ学習分析による農業畜産の効率化や衛生管理システムの開発に取り組み、地域課題解決に尽力し、地域社会ＤＸの発展に多大な貢献をした。
	情報通信月間 四国総合通信局長表彰	山本　耕司	個人	四国大学 副学長 デジタル創生学部長　教授	多年にわたり四国コンテンツ映像フェスタや映像制作研修会の開催を通じて映像制作者の育成に尽力されるとともに、デジタルの力で地域課題の解決を図る人材育成基盤の創設や地域発コンテンツ流通を促進する取組により、広く四国地方の魅力発信に多大な貢献をした。
	情報通信月間 四国総合通信局長表彰	香川大学情報化推進統合拠点サイバーセキュリティセンター	団体	センター長　後藤田　中	サイバーセキュリティに関する教育及び研究に取り組むとともに、警察機関と連携した啓発活動やサイバー防犯ボランティア「ＳＥＴＯＫＵ」の活動を支援することにより、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成と普及啓発に多大な貢献をした。
	情報通信月間 四国総合通信局長表彰	愛媛県企画振興部デジタル戦略局	団体	局長　廣井　久典	多年にわたりデジタル技術を愛媛県内事業者・自治体等に実装して地域課題の解決に挑戦するトライアングルエヒメを推進し、各産業への実装やデジタル企業誘致等の横展開に取り組み、地域社会ＤＸの発展に多大な貢献をした。
	四国情報通信協力会会長表彰	株式会社ドコモＣＳ四国		代表取締役社長　蓑手　康史	多年にわたり国立大学法人徳島大学において「無線設備管理・法規」の講義を担い、無線技術の資格取得を目指す学生に専門的知識に基づいた教育と指導を行うなど教育環境の整備・充実に寄与するとともに、地域におけるワイヤレス人材の育成に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	電波の日 九州総合通信局長表彰	岩村　英雄	個人		長年にわたり宮崎県電波適正利用推進員協議会の会長として協議会を牽引し、その発展に寄与した。さらに、電波教室の開催や周知・啓発活動に取り組み、電波利用への理解向上と適正利用の推進を通じ、地域における良好な電波利用環境の保護に多大な貢献を果たした。
九州	電波の日 九州総合通信局長表彰	楠本　浩	個人	株式会社NTTドコモCS九州 ネットワーク運営推進部　運営企画　専任課長	卓越した実行力をもって、平時より国や自治体をはじめとする防災関係機関との協力体制の構築や連携強化に尽力した。さらに、有事においては優れたリーダーシップを発揮し、迅速な通信の復旧に取り組むなど、防災・減災体制の確保に多大な貢献を果たした。
九州	電波の日 九州総合通信局長表彰	髙木　栄次	個人		長年にわたり長崎県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引するとともに、地元での電波教室の開催や周知・啓発活動に積極的に取り組むなど、地域における適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をした。
九州	電波の日 九州総合通信局長表彰	熊本県	団体	県知事　木村　敬	熊本地震からの十年間の創造的復興を見据え、災害対応の経験を生かしながら、全国に先駆けて先進的な防災対策に取り組んだ。 また、通信復旧の重要性を深く認識し、防災訓練の充実や発災時における的確な関係機関との連携を推進することにより、通信の早期復旧に多大な貢献を果たした。
九州	電波の日 九州総合通信局長表彰	株式会社コミュニティジャーナル	団体	代表取締役社長　池田　眞由美	佐賀市と臨時災害放送局に関する協定を締結し、関係機関と連携して災害時に役立つ冊子の企画・発行に取り組んだ。あわせて、番組を通じてラジオの重要性を発信し、地域住民の防災意識の向上と地域の防災力強化に多大な貢献を果たした。
九州	情報通信月間 九州総合通信局長表彰	佐藤　泰格	個人	都城市デジタル統括課副課長	地域情報化アドバイザーとして、情報システムの標準化や窓口業務の効率化などについて助言・提言を行い、自治体業務の高度化と効率化に尽力した。あわせて、地域におけるデジタル・トランスフォーメーションの推進や、それを担う人材の育成にも大きく寄与し、地域全体の情報化推進に多大な貢献を果たした。
九州	情報通信月間 九州総合通信局長表彰	株式会社五島テレビ	団体	代表取締役　富川　吉夫	五島市における放送の良好な視聴環境の確保に努めるとともに、総務省の補助事業を活用してケーブルテレビネットワークの光化を推進した。これにより、地域の情報通信の高度化と安定的な情報伝達体制の整備に尽力し、地域住民の安心・安全の向上に多大な貢献を果たした。
九州	情報通信月間 九州総合通信局長表彰	福岡工業大学附属城東高等学校	団体	校長　佐伯　道彦	多年にわたり学校教育を通じて高度な専門知識と技術を備えた工事担任者の育成に精励し、情報通信社会の基盤を支える優れた人材を数多く輩出し、電気通信の安定的かつ健全な発展に多大な貢献をした。
九州	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 九州総合通信局長賞	日本文理大学附属高等学校	団体	校長 小原 和成	その情報 本当に合ってる？ 考えて
九州	九州電波協力会長表彰	大野城市立平野中学校	団体	校長 古川 裕士	放送の受信障害防止の意義を深く認識し「受信環境クリーン図案コンクール」に積極的に取り組まれ広く受信障害防止に対する知識向上に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	九州電波協力会長表彰	熊本市立力合中学校	団体	校長　福嶋　孝明	放送の受信障害防止の意義を深く認識し「受信環境クリーン図案コンクール」に積極的に取り組まれ広く受信障害防止に対する知識向上に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	山城　豊	個人		沖縄県電波適正利用推進員協議会の推進員や幹事として同協議会の活動と運営に携わり、地域における電波適正利用の推進及び同協議会の発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	団体		電波利用環境保護周知啓発強化期間において、沖縄県ハイヤー・タクシー協会傘下のタクシー車両に周知啓発用シールを掲示するなど、周知啓発への協力により電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。
沖縄	情報通信月間 沖縄総合通信事務所長表彰	株式会社ブルー・オーシャン沖縄□	団体		企業誘致が困難な「離島の離島」である宮古島において、離島在住テレワーカーの人材育成やブランチオフィス型テレワークによる仮想拠点として首都圏企業と連携するなど有名リゾート地である特性を活かしたワーケーションを推進し、地域特性を活かした情報通信技術の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 沖縄総合通信事務所長表彰	那覇市立寄宮中学校	団体		闇バイト　職に就けても　前科つく
沖縄	沖縄電波協力会長表彰	玉城 正利	個人		一般社団法人全国船舶無線協会沖縄支部の理事や副支部長を長年に渡り精勤し、沖縄県内における船舶無線の普及促進に多大な貢献をされました。